

## 第90回 ここからカフェ九品仏

### クリスマス会

手話ダンス・ピアノ演奏・コーラス・手遊び  
オカリナ演奏など盛りだくさん  
楽しい時間を入居のみなさまとともに  
楽しみましょう

日時：2025年12月20日（土）  
13:30～15:30

会場：チャームプレミア田園調布  
東京都世田谷区玉川田園調布1-9-10

参加費：300円 ※要予約

申込・問合：090-3961-8514  
(ここからカフェ九品仏 湯澤)

## 第116回 お隣さまお茶会

### いろどりサロン

ピアノの調べと共に、心も体も”いきいき”と。  
2025年の話題を振り返りながら、昔懐かしい  
歌で喉を潤し頭と身体を心地よく動かしていき  
ましょう

#### 講師：柳澤寿江さん

笑顔と元気が咲きほこる、ゆったりとした  
優雅な時間をお楽しみください

日時：2025年12月15日（月）  
13:30～15:30

会場：チャームプレミア田園調布  
東京都世田谷区玉川田園調布1-9-10

参加費：500円 ※要予約  
申込・問合 03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

## 第59回 玉田シニアサロン

田園調布100周年事業について  
田園調布会会长 大高英昭さん

日時：2025年12月14日（日）  
14:00～16:00

会場：玉川田園調布会館  
東京都世田谷区玉川田園調布1-9-12  
参加費：500円 ※要予約  
申込・問合 03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

#### ハウスの会員数

特別正会員	5名
正会員	28名
ニュース会員	58名

12月号にかかわったひと  
伊藤雅春 染野和夫  
高橋阿貴 小西玲子  
柴田希美絵 池田麻未  
昆野敬子

11

- 5日（水）  
6日（木）  
10日（月）  
13日（木）  
14日（金）  
15日（土）  
16日（日）  
18日（火）  
27日（木）
- プレーリヤカーデの公園遊び / 奥沢（タイヤ）公園  
楽多の会定例会 / デイホーム玉川田園調布  
お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn  
住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所  
住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所  
玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn  
ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設2階  
タマデンマルシェ / アビターレ前（玉田1-13-1）  
プレーリヤカーデの公園遊び / ねこじやらし公園  
住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所

## ハウスカレンダー

12

- 3日（水）  
4日（木）  
8日（月）  
11日（木）  
12日（金）  
14日（日）  
15日（月）  
16日（火）  
20日（土）  
21日（日）  
25日（木）
- プレーリヤカーデの公園遊び  
10:00～12:30 奥沢（タイヤ）公園  
楽多の会定例会  
10:00～12:00 奥沢地区会館料理講習室  
住宅まちづくり総合相談  
13:30～15:30 世田谷総合支所  
住宅まちづくり総合相談  
13:30～15:00 玉川総合支所  
玉川まちづくりハウス定例運営委員会  
9:30～11:00 スペースえんがわ inn  
玉川まちづくりハウス総会  
11:00～12:00 スペースえんがわ inn  
玉田シニアサロン  
14:00～16:00 玉川田園調布会館  
お隣さまお茶会  
13:30～15:30 チャームプレミア田園調布  
プレーリヤカーデの公園遊び  
10:00～12:30 ねこじやらし公園  
ここからカフェ九品仏  
13:30～15:30 チャームプレミア田園調布  
タマデンマルシェ  
11:00～15:00 アビターレ前（玉田1-13-1）  
住宅まちづくり総合相談  
13:30～15:00 玉川総合支所



## ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com> にてご確認ください

## 玉川まちづくりハウスニュース

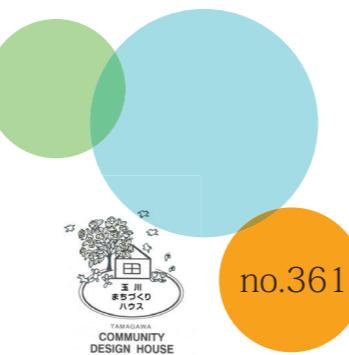
# みんなでホイッ！

12  
2025

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10 Email [house@tamamati.com](mailto:house@tamamati.com)  
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>



no.361

10月12日（日）「つながる街角祭り」を開催しました。午後の部その2

午後は、参加団体による各種相談コーナーなど、その前半については11月号で報告しました。その続きです。

### ～午後のプログラム～

参加団体による各種相談コーナー  
体力測定 歩行測定 お出かけ美容院  
栄養相談 相続相談 介護健康相談

### みんなでつくる街角コンサート

日丸真さん（ふくろうクリニック等々力  
音楽療法士）



とまり木菜園臼井さん

美容室への外出が困難な方のために、美容師が自宅や介護施設、病院などに訪問してヘアカットやカラー、パーマなどの美容サービスを提供するお出かけ美容院をはじめているnie(ニーエ)も参加、ヘッドスパを体験した方はみなさん満足してくださいました。高齢、障がいばかりでなくケガや、小さいお子さんがいて出にくい方もぜひ利用してみてください。



お出かけ美容院看板  
美容師さんの娘さん作

『街角保健室』は誰かと話したい時に立ち寄れる空間を目指し、各団体が取り組んでいます。  
これからも活動にとりくんでいきます。よろしくお願ひいたします。



## 公益信託世田谷まちづくりファンド終了と都市計画学会石川賞受賞

32年続いていた、「公益信託世田谷まちづくりファンド」が、2025年度をもって終了するという知らせは、ずいぶん前から知っていました。

このタイミングで、「公益信託世田谷まちづくりファンド」が日本都市計画学会賞石川賞受賞を受賞した世間のニュースも飛び込んできました。

石川賞は都市計画に関する業績により、都市計画の進歩、発展に貢献した個人または団体を対象とする賞で、実は、玉川まちづくりハウスの生みの親ともいえる林泰義さんも1997年に受賞しています。

この世田谷まちづくりファンドの構想は、玉川まちづくりハウスが活動を始める契機ともなった仕組みで、まちづくりをやってみようという個人、団体を支援をしていくと1992年、公益信託制度を用いて設立された基金でした。このファンドに応募した件数は、30年間（2022年まで）で延べ1084件、助成件数は866件にのぼり、助成金総額は約2億3800万円、助成対象は延べ433グループにもなったと聞いて感慨深いものがありました。

11月5日（水）まちづくりファンド石川賞受賞報告会が、北沢タウンホールスカイサロンで開催されました。当日は、歴代の運営委員、助成を受けた団体など、ファンド関係者が集まりました。30年以上経過しているとは思えないみなさ

人の変わらぬ若い姿に驚き、これまでの歩みを振り返りつつ、あんなこともあった、こんなこともあった、今は何をしていると、会場のあちこちで談笑する姿が見られる和やかな会でした。

市民活動を応援する仕組みは、全国各地にも見られますが、授賞理由にも、単に資金を助成するだけではなく、「世田谷トラストまちづくり」が活動を見守ること、行政と区民だけではなく、企業の寄付も受け付ける仕組みとなっていること、運営にファンドの卒業生が複数関与し、活動団体への伴走支援をファンド運営委員会や当財団が担い、自分たちの活動に留まらず、世田谷だけでなく、まち全体のまちづくりに関わっていく人財を見出していることが評価につながったとあり、ファンドをここまで続け、市民自治の芽を育ててきたことを評価されているのだと思いました。

世田谷まちづくりファンドは終了しますが、新しく（一財）世田谷トラストまちづくりが、主体となり、「世田谷トラストまちづくり活動助成事業」が始まり、これまでの公開審査会などはそのまま、新しい試みもなされています。期待して見守りたいし、世田谷区のまちづくりのこれから広がりをみなさんにも知っていたくために、玉川まちづくりハウスの活動も、もう少し続けていかなくてはと考えています。



## 地域 gayagaya 染野さんのこと

地域 gayagaya で地域の歴史についてずっと寄稿してくれた染野和夫さんから、右のようなコメントをいただきました。

玉川まちづくりハウスは、ご厚意に甘えっぱなしで3年間も書いていただいているのだと、あらためて心から感謝いたします。

このコーナーを楽しみにしていたいっている方も多い、小さな冊子にまとめて、みなさんにお届けできるようにしたい、またあらためて、染野さんを囲む会もしたい…と考えています。

今や染野さんは歴史散策等、世田谷のあちこちで、講師として引っ張りだこで、お時間がないかもしれないのですが、ぜひ実現させたいです。染野さんもうしばらくよろしくお願いいたします。

歴史を辿る・その(35)の数字を書いて、改めてよく続いたな！との感慨と、一人でこんなに続けていいのだろうか、という気持ちが交差しています。令和4年10号の原稿依頼から寄稿させていただき、地域の歴史について紹介してまいりましたが、原稿を書く中で自分自身も勉強しながら三年間でした。

## 暮らしのつぶやき 2025年12月

### AIと話す

AIとやり取りしながら仕事を進める機会が増えてきました。その度に萩尾望都の「銀の三角」というSF漫画のシンボルが頭を過ぎります。主人公が、家の管理をしているコンシェルジュのようなコンピュータに「あるメロディ」を探すようお願いする場面で、コンピュータが「存在するかどうかかもわからない羊飼いの鼻唄を探せって？」と反抗的な返事をしていて印象的でした。AIが相棒になる社会はどんなものになるのでしょうか。

玉川まちづくりハウスニュース

### レンタル電動自転車

引っ越ししてからレンタル電動自転車をよく使っています。

30分160円からで、アプリで手軽に予約でき、支払いも簡単なので買い物などに便利です。

今まで知らなかった場所にもステーションがあることがわかって、電車じゃなくて自転車で行ってみようかなと思うことも増えました。

日差しや暑さを気にしなくていい季節に、たくさん活用しようと思います。

2

## 地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る  
その35

奥沢地誌保存会・染野和夫



蔵前の東京高等工業学校本館

### 第35回 「東京科学大学の誕生の歴史」について

今回のテーマは「東京科学大学」です。奥沢に住む私としては「東京工大、又は工大」の呼び方がしきり来る大学ですが、近年新たな名称に変更となりました。この学校の歴史についてのお話しです。

本校の歴史は、明治14年(1881)5月に東京職工学校が設立されたことで始まります。同校は明治政府の積極的な保護を受けて創設されました。欧米列強諸国に追いつくためには実業教育の工業教育機関設置が求められており、同校は主に製造現場および工業教育の指導者養成を目的とし、化学工芸科及び機械工芸科の2科でスタートしました。その後、明治23年(1890)3月、職工という名前が工業指導者養成にそぐわないとして東京工業学校へと改称されました。この頃から実務のみの専門学校的な教育機関から高等専門教育へと発展させる動きが出てきています。

そして明治34年(1901)5月、東京高等工業学校と改称、この後高等専門教育機関からは学校の所在地から長い間「蔵前」と呼ばれるようになります。



大正13年関東大震災に遭い、大岡山に移転。  
昭和3年北口に仮校舎を建てた東工大

大正12年(1923)9月に発生した関東大震災で学校施設が焼失、これを機に翌大正13年(1924)4月、東京府荏原郡大岡山に移転します。尚、この大岡山の土地は、元来、田園都市(株)が住宅地開発のため買収した9万2千坪の土地で、これを蔵前の学校の土地1万2千坪と等価交換したものです。移転後、大岡山駅北口に仮設校舎を建てて授業を再開しています。



東京工業大学・本館

東京工業大学・大岡山仮校舎

東京科学大学・湯島キャンパス



東京医科歯科大学を統合しての新大学が発足しました。

「『科学の進歩』と『人々の幸せ』とを探求し、社会とともに新たな価値を創造する」をミッションに掲げ、両大学のこれまでの伝統と先進性を生かしながら新しい大学の在り方を創出する、としています。

### クリスマス準備

ハロウィンが終わると、街があつとう間にクリスマスカラーになります。

赤と緑と白、金色。リースやリボンや様々なモチーフ。今年は引っ越しでインテリア系のSNSを見ていたこともあって、余計にそう感じたかもしれません。

筋トレしているサンタさんなど、ちょっとおどけたオーナメントがあつたりして、毎年色んな流行りがあるなあと感心します。

### 落ち葉の布団

久しぶりに九品仏淨眞寺に行き、きれいに紅葉した境内の中を散歩しました。

明るい茶色のフカフカの落ち葉の中に溶け込むように、同じく明るい茶色の猫が丸まって一匹寝ていて、周りの人たちが「寒くないの？」と心配しながらも、かわいいその姿の写真を撮っていました。

乾いたフカフカの落ち葉の寝床は気持ちが良さそうで、秋のよい思い出になりました。（貴）

3

玉川まちづくりハウスニュース